



秋竹小 学校だより

第122号 平成26年7月18日

海の日や谷の蝉声波となり

## 明日から 夏休み

子どもたちが待ちに待った夏休みが、始まります。いろいろと宿題が出ているとはいえ、子どもたちにとっては、本当に楽しい毎日だと思います。しかし、楽しいからこそ心配なことがあります。事件事故に巻き込まれてしまわないかということです。夏休み直前には、岡山県で小学生が下校途中、行方不明になるという事件が起きました。また、以前から、水の事故があちらこちらで起こっています。子どもたちの気がゆるみがちなときだからこそ、「子どもを危険から守る」ことを意識しなければと思います。

交通ルールを守る、出かけるときは家の人に言う、などはもちろんのこと、人目に付きにくい場所（ご家庭で確認してみてください）には、絶対に一人で行かない、防犯ブザーを活用する、一人で留守番をするときの約束を決めておく、などの対策をして、健康で楽しい夏休みを過ごしてほしいと願っています。もちろん、学校の水泳指導にもできるだけ参加して、身体を鍛えましょう。夏休み中でも、何か心配なことがありましたら、学校へお知らせください。



### 合い言葉は 『きょうはイカのおすし』

きよ＝（不審者や車との間は両手を開いたくらいの）距離をとる  
う＝（自分の）後ろはよく気をつける  
は＝（家に）早めに帰る  
イカ＝（知らない人にはついて）行かない  
の＝（クルマに）乗らない  
お＝（助けてと）大声をあげる  
す＝すぐ逃げる  
し＝（どんな人に何をされたかなどを大人の人に）知らせる



### 人目が大事

誘拐や連れ去り事件は、自宅のすぐ近くで起こることが多いそうです。自分の家の前だからといって油断しないことです。また、大人の目があることが犯罪を防ぐことにつながるといわれます。地域のみなさんで地域の子どもたちを見守ってください。

### 夏休みも委員会活動

毎年のことですが、環境委員会の子どもたちは、夏休みも委員会の仕事を頑張ってくれます。花の水まきや鳥小屋掃除など、1日でも手を抜くとたちまち花はしおれ、鳥たちは元気がなくなります。たいへんですが、今年も頑張ってくれることと思います。活動は、朝8時30分頃からです。家の方のご協力も必要です。よろしくお願いします。（荒天の時は、行いません。）

### 水辺のひやりはっとプラットフォーム

**滑る**…水際の護岸や浅瀬の石などは、表面にコケが付着しとても滑りやすくなっています。  
**転ぶ**…水際は、平らな所がほとんど無く、平地で歩きなれている人間にとっては、予想外に転びやすいものです。また、浮石などでぐらつき、転んで捻挫や骨折をすることもあります。  
**落ちる**…水際には草むらが生い茂っていることが多く、見通しが良くありません。陸地だと思って踏み込んだところが、既に川の上になっているということもあります。  
**深みにはまる**…一般的に岸から川の中央に向かって深くなっていると思われていますが、地形等の影響で、川底が急にえぐれていたり、崖のように落ち込んでいるところがあります。流れが複雑になり、足を取られてパニックになったり、流れに引き込まれるとあせって溺れてしまいます。  
**流される**…一見穏やかに見える川の流れも、中に入ると思った以上に流れは速いものです。また同じ川でも場所によって速さが違います。浅いからといって安心してると足をすくわれ深いところへ流されてしまうこともあります。



### 1学期の欠席0

は…

7月17日  
現在で、欠席  
0の日は、

**12日**でした。昨年度よりも4日多く、子どもたちが元気に登校できたことを嬉しく思います。夏休みを元気に過ごし、そして2学期も元気に登校してくれることを願っています。

